

—川崎市市民ミュージアム 2018年11月～2019年1月の展覧会—

表現の新たな地平を切り拓き続ける、その軌跡を総覧する！

ビッグコミック 50周年展
Anniversary since 1968

5人の作家から始まった『ビッグコミック』という変革

さいとう・たかを (1962年)
石塚真一 (1962年)
水木しげる (1962年)
手塚治虫 (1962年)
白土三幸 (1962年)
ちばてつや (1962年)

2018 11.10(土) 2019 1.14(月・祝)
9:30～17:00(最終入館は16:30まで)

川崎市市民ミュージアム 企画展示室2
休館日：毎週月曜日(12/24、1/14は閉館)、12/25(火)、年末年始(12/29～1/3)
観覧料：一般800円(640円)、65歳以上・大学生・高校生600円(480円)
※(1)内は20名以上の団体料金、※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方およびその介護者は無料
〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)
TEL 044-754-4500 FAX 044-754-4533 URL <http://www.kawasaki-museum.jp/>

更新版

2018年11月10日(土)～2019年1月14日(月・祝)
川崎市市民ミュージアム

「大人のためのコミック誌」を開拓した『ビッグコミック』、

誌面を彩った数々の名作とともにその50年の歴史を一望！

今年創刊50周年を迎えた小学館のマンガ雑誌『ビッグコミック』。

マンガが若者たちの文化として大きく広がり始めた1960年代に登場し、「大人のためのコミック誌」という領域を切り拓いたその軌跡は、マンガが子どものためのものから、大人も楽しめるものへと変わっていく、歴史的な変革の過程でもありました。

本展では、マンガの歴史にその名が刻み込まれた巨匠たちの力作から、今まさに大人のマンガ読者のためのドラマを紡いでいる作家たちの多彩な作品まで、誌面を飾った名作の数々と共に、半世紀に渡る歩みを振り返ります！

主催＝川崎市市民ミュージアム
協力＝小学館ビッグコミック編集部
特別協力＝京都国際マンガミュージアム
／ 京都精華大学国際マンガ研究センター



<1>「ゴルゴ13」©さいとう・たかを

みどころ・展示内容

創刊号に執筆した5人の作家(手塚治虫、石ノ森章太郎、白土三平、さいとう・たかを、水木しげる)の作品から、現在に至る掲載作品の原画、複製原画、およびその他資料・雑誌など300点以上を一挙に展示します。

また、会場ではさいとう・たかを氏や、藤子不二雄[Ⓐ]氏、松本零士氏ら作家陣へのインタビュー映像『『ビッグ』を語ろう』を上映。

さらに、まるで『ビッグコミック』の表紙・誌面に入り込んだような写真を撮影できるフォトスポットも設置し、ただ「見る」だけではなくさまざまな楽しみ方ができる展覧会です。

※手塚治虫/手塚プロダクションの「塚」は旧漢字を使用、

石ノ森章太郎の「ノ」はQ数を2下げて表記。



左：<2> ビッグコミック創刊号

右：<3> 「地球を呑む」©手塚プロダクション

1 ◆◆ 『ビッグコミック』50年の歩み

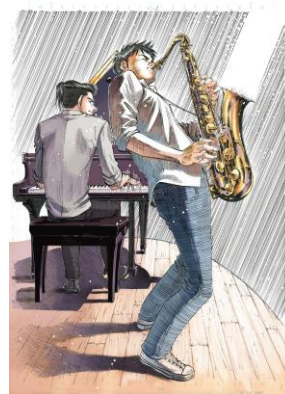
さいとう・たかを「ゴルゴ13」や手塚治虫「地球を呑む」、石ノ森章太郎「HOTEL」など、『ビッグコミック』の誌面を飾った数々の名作とともに、創刊から10年ごとにその変革の軌跡をたどります。

2 ◆◆ 「ビッグ」な名作アラカルト

読者に愛された名作から大胆な野心作まで、50年の歴史が生み出した「ビッグ」作品の多彩な宇宙を紹介します。

3 ◆◆ 現在進行形の『ビッグコミック』

いまなお「大人のためのコミック誌」として様々なドラマを紡ぐ『ビッグコミック』。その現在進行形の誌面を、石塚真一（「BLUE GIANT SUPREME」）や、かわぐちかいじ（「空母いぶき」）など連載作家による原画などとともに一望します。



<4> 「BLUE GIANT」©石塚真一

関連イベント

下記のほかにも、ビッグなイベントを鋭意企画中！
詳細は決まり次第ご案内します。

◆ ベビーカーツアー

日時：11月15日（木）11：45～（30分程度）

2F 企画展示室2/0歳～未就学児と保護者（6組）/要観覧券

*9月15日（土）より当館HPの申込フォームより受付開始。

11月9日（金）応募締切（抽選）。

◆ ギャラリーツアー

日時：11月18日（日）、12月8日（土）各日14：00～

2F 企画展示室2/要観覧券/当日直接会場へ



左：<5> 「ミノタウロスの皿」©藤子プロ

右：<6> 「カムイ外伝」©白土三平、岡本鉄二

開催概要



○展覧会名 ビッグコミック 50 周年展

○会 期 2018 年 11 月 10 日（土）～ 2019 年 1 月 14 日（月・祝）

○休 館 日 毎週月曜日（ただし 12 月 24 日、2019 年 1 月 14 日は開館）、
12 月 25 日（火）、2019 年 1 月 15 日（火）、年末年始（12 月 29 日～2019 年 1 月 3 日）

○開館時間 9：30～17：00（最終入場 16：30 まで）

○会 場 川崎市市民ミュージアム 2F 企画展示室 2

○観 覧 料 一般 800 円（640 円）、65 歳以上・大学生・高校生 600 円（480 円）、中学生以下無料

※（）内は 20 名以上の団体料金。※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

主催＝川崎市市民ミュージアム 協力＝小学館ビッグコミック編集部

特別協力＝京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター

◆内覧会・オープニングセレモニー◆

2018 年 11 月 9 日（金）15:00～内覧会 / 17:00～オープニングセレモニー

内覧会当日は、9 月 22 日より開催中の「連載 50 周年記念特別展『さいとう・たかを ゴルゴ 13』用件を聞こうか……」も合わせてご観覧いただけます。詳細は別途ご案内申し上げます。

＜川崎市市民ミュージアム 施設概要＞



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて 1988 年 11 月に開館した、博物館と美術館の複合文化施設です。

★日本で初めて漫画部門を設立した公立の美術館・・・

川崎市市民ミュージアムでは、都市文化を形作ってきた複製芸術（メディアアート）、大衆芸術を中心に収蔵しています。特に漫画分野においては、日本の公立館で初めて収集・展示を行った館として、6 万点に及ぶ資料が収蔵されています。さらに、漫画関連の収蔵品のうち、著作権が消

滅している一部の内容については、IRI（NPO 法人知的資源イニシアティブ）提供のシステムを利用して、ウェブ上で試行的に公開しています。

[川崎市市民ミュージアム 漫画資料コレクション] <https://kawasaki.iri-project.org/>

[写真] 3F ミュージアムライブラリーには、靴を脱いで閲覧できる漫画コーナーもあります（利用無料）。



■住所／〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2（等々力緑地内）

■開館時間／ 9:30～17:00

■休館日／月曜日（休日の場合は開館）、祝日の翌日（土日の場合は開館）、
年末年始（12 月 29 日～2019 年 1 月 3 日）

■料金／入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。

* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。

* 20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス／下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

* 武蔵小杉駅（JR 南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線）よりバスで約 10 分

* 武蔵溝ノ口駅（JR 南武線）・溝の口駅（東急田園都市線・大井町線）よりバスで約 20 分

* JR 川崎駅よりバスで約 40 分

広報用画像



本リリース内の画像素材はすべてご提供できます。画像の使用を希望される方は、広報担当宛にご連絡ください。

■素材使用に関して

- ・今回ご提供する素材の使用は、本展覧会を紹介していただける場合に限りです。その他用途での使用はご遠慮ください。
- ・**画像をご使用の際は、各画像下部に記載のクレジットを必ずご記載ください。**
- ・トリミング・キリヌキはご遠慮いただき、キャプション等の文字が画像にかぶらないようご配慮ください。
- ・**WEBメディアにご掲載いただく際は、画像内に「SAMPLE」の文字を入れたデータをご使用いただきます。**
- ・記事をご掲載いただいた際には、お手数ですが掲載紙（誌）を2部当館広報宛にご送付をお願いいたします。

			
<7> 「空母いぶき」 ©かわぐちかいじ、恵谷治	<8> 「さそり」 ©篠原とおる	<9> 「ギャラリーフェイク」 ©細野不二彦	<10> 「HOTEL」 ©石森プロ
			
<11> 「赤兵衛」 ©黒鉄ヒロシ	<12> 「黄金のラフ」 ©なかいま強	<13> 「黒いせえるすまん」 ©藤子スタジオ	<14> 「妖花アラウネ」 ©水木プロダクション
			
<15> 「のたり松太郎」 ©ちばてつや	<16> 「総務部総務課 山口六平太」 ©林律雄、高井研一郎	<17> メインビジュアル（縦） ※クレジット不要	<18> メインビジュアル（横） ※クレジット不要

【プレスリリースお問い合わせ】 川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 石澤

TEL : 044-754-4500 (休館日を除く 9:30~17:00) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/>

* 指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体